

## 令和7年度 大阪府立大阪南視覚支援学校

# 学校教育自己診断の結果について

このたび、児童・生徒・学生の皆さんや保護者・保証人の皆様には学校教育自己診断にご協力いただき、ありがとうございました。

本校では、学校教育改善の方策を明らかにするため、学校教育自己診断を行い、頂いたご意見を学校運営や教育活動に活かしてきました。

アンケート結果は「児童・生徒・学生」「保護者・保証人」「教職員」の3つに分けて集計しました。質問ごとに、今年、過去2年間、各学部ごとの結果を数値化、また今年の結果については「肯定」「否定」「わからない」の割合を比較しやすいように帯グラフを作成し、本校の学校運営や教育活動が皆様のニーズに対応しているかどうかなどを比較、検討しました。この診断により、現在の課題が明らかになり、今後の学校運営や教育活動を見直すきっかけになると考えています。

また、この結果をふまえ、学校運営協議会委員の方々のご意見もいただき、学校長の「学校経営計画」に反映させ、今後の教育活動をより豊かなものにしていきたいと思います。

## 1 アンケートの方法

昨年度に引き続き、小学部、中学部、高等部、専修部の「児童・生徒・学生」、「保護者・保証人」、全教職員を対象に、Google フォームでのアンケートを実施しました。また、希望者には例年同様、質問用紙を配付しました。(実施時期：令和7年10月末～11月)

回収率は、次の表のとおりです。

	提出率(%)	昨年度提出率(%)	一昨年度提出率(%)
児童・生徒・学生	47.5	53.1	80
保護者・保証人	48.8	50.7	87
教職員	88.5	81.1	93

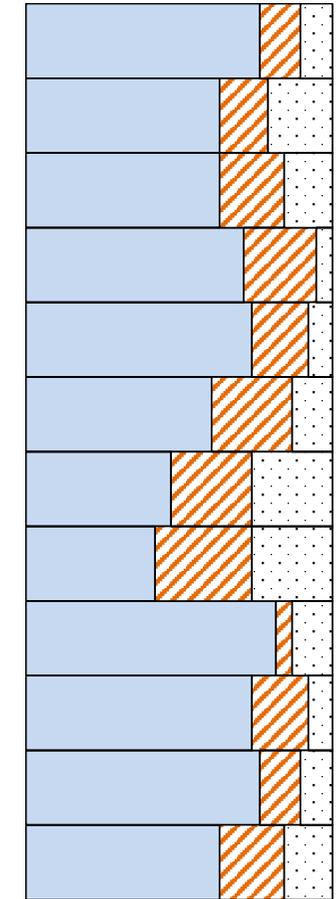
## 2 評価・集計方法

- i) 小学部児童は、質問に対し「はい、いいえ、わからない」の3段階で回答しました。
- ii) その他は、質問に対し「とてもそう思う、すこしそう思う、あまりそうは思わない、まったくそうは思わない、わからない」の5段階で回答しました。
- iii) 「はい、とてもそう思う、すこしそう思う」を肯定的評価とし、「いいえ、あまりそうは思わない、まったくそうは思わない」を否定的評価として集計し、グラフで表示しました。

集計結果(児童・生徒・学生)

		R7 肯定	R7 否定	R7 わからない	R6 肯定	R6 否定	R6 わからない	R5 肯定	R5 否定	R5 わからない	幼小 肯定	幼小 否定	中 肯定	中 否定	高 肯定	高 否定	専 肯定	専 否定
1	学校全般 学校に行くのがたのしいかどうか	76%	13%	11%	84%	7%	9%	87%	8%	5%	100%	0%	100%	0%	60%	30%	74%	11%
2	進路 一人ひとりに応じた進路学習	63%	16%	21%	64%	14%	23%	75%	6%	19%	50%	0%	67%	0%	70%	20%	63%	21%
3	生徒指導 悩みを相談できるシステムの有無や相談できる教職員の有無	63%	21%	16%	77%	11%	11%	86%	8%	6%	67%	0%	67%	0%	60%	30%	63%	26%
4	生徒理解 教職員の幼児・児童・生徒・学生の障がいについての理解	71%	24%	5%	86%	11%	2%	89%	6%	5%	100%	0%	100%	0%	70%	30%	58%	32%
5	授業 わかりやすい授業の実施	74%	18%	8%	84%	9%	7%	83%	13%	5%	100%	0%	100%	0%	70%	10%	63%	32%
6	授業 ICTを活用した教育の取り組み	61%	26%	13%	59%	18%	23%	64%	23%	13%	67%	33%	100%	0%	100%	0%	32%	42%
7	人権教育 幼児、児童、生徒、学生に対する積極的な人権教育の推進	47%	26%	26%	73%	14%	14%	73%	17%	9%	83%	0%	100%	0%	60%	10%	21%	47%
8	人権教育 いじめなどの行為があった場合、適切に対応しているか	42%	32%	26%	64%	11%	25%	64%	9%	27%	50%	0%	100%	0%	50%	30%	26%	47%
9	学校安全 地震や火災など非常時の対応方法が適切に教えられているか	82%	5%	13%	91%	5%	5%	94%	2%	5%	83%	0%	67%	0%	80%	0%	84%	11%
10	学校生活 通学路は視覚障がい者にとって安全に整備されているか	74%	18%	8%	84%	9%	7%	91%	5%	5%	67%	0%	100%	0%	80%	20%	68%	26%
11	学校生活 学校は視覚障がい者にとって安全に整備されているか。	76%	13%	11%	91%	7%	2%	92%	5%	3%	83%	0%	100%	0%	90%	0%	63%	26%
12	学校生活 スポーツフェスティバルや文化祭など学校行事が楽しいかどうか(専)学科の行事が有意義かどうか	63%	21%	16%	77%	11%	11%	81%	13%	6%	83%	0%	100%	0%	50%	30%	58%	26%

肯定的意見
  否定的意見  
 わからない



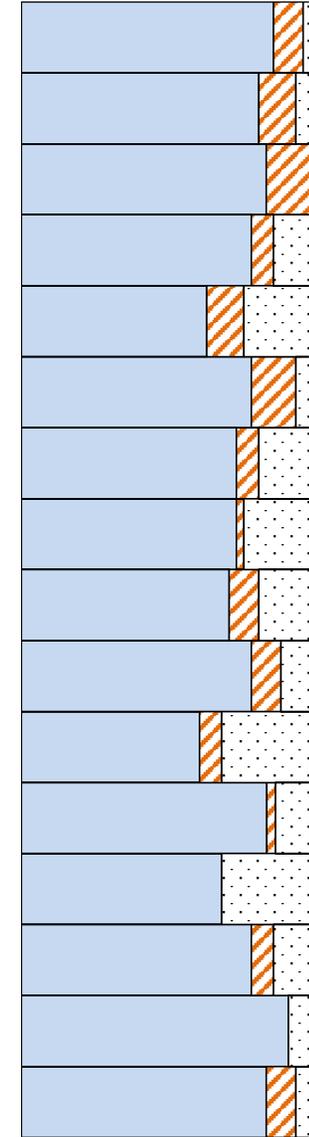
<児童・生徒・学生の集計結果について>  
 ●回答率は47.5%(R6は53.1%)だった。回答を得られやすいよう、案内のQRコードを一つに統一したり、保護者による代筆の案内や実施期間を延長したりしたが、児童・生徒の多様な実態によっては本人からの聞き取りが難しいこともあり、回収に対する配慮が必要と思われる。  
 ●12項目中、肯定意見(以下、肯定)が70%以上は6項目(①、④、⑤、⑨～⑪)であった。  
 ・①『学校に行くのがたのしいか』は肯定が76%あり、一人ひとりの個性を尊重した教育活動に理解を得られていると思われる。特に、幼小学部、中学部で肯定が100%であった。  
 ・⑨『地震や火災など非常時の対応方法が適切に教えられているか』は肯定が82%、否定が5%、教職員も同項目⑩で肯定が95%あり、定期的な避難訓練による防災意識が定着されている。  
 ・⑦『積極的な人権教育の推進』は“学校で命の大切さや社会のルールについて学んだことがある”という質問を設定しており、義務教育の幼小・中学部で肯定が83%、100%であるが、職業課程の専修部は肯定21%と低く、人権教育の充実に向けた検討が必要であると示唆された。

<保護者・保証人の集計結果について>  
 ●回答率は48.8%(R6は50.7%)であった。本人の子どもの代筆も兼ねた保護者の一つの回答によるものや、職業課程の専修部の回収率が影響を受けている可能性がある。  
 ●16項目中、肯定的意見が70%以上が13項目(①～④、⑥～⑩、⑫、⑭～⑯)であった。  
 ・③『保護者の学校行事の参加』は肯定が85%だった。文化祭など学部を越えた行事や、授業参観などをとおして、学校の取り組みに関心を持っていた。ただけだ。  
 ・④『一人ひとりに応じた進路指導』は肯定が79%で前年度から17%上昇した。児童・生徒一人ひとりの目標設定に向けた支援が反映されていると思われる。  
 ・⑩『教育活動における幼児児童生徒学生の人権尊重』は肯定が79%で例年高い水準を維持している。  
 ・⑮『学校は視覚障がい者にとって安全に整備されているか』は肯定が92%、否定が0%、わからないが8%で数値の高い結果が得られた。

集計結果(保護者・保証人)

		R7	R7	R7	R6	R6	R6	R5	R5	R5	幼小	幼小	中	中	高	高	専	専	
		肯定	否定	わからない	肯定	否定	わからない	肯定	否定	わからない	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定	
1	学校全般	学校に行くのがたのしいかどうか	87%	10%	3%	81%	12%	7%	92%	3%	5%	100%	0%	100%	0%	75%	25%	67%	17%
2	保護者・保証人との連携	学校による情報の周知徹底	82%	13%	5%	76%	14%	10%	77%	9%	14%	93%	0%	86%	14%	83%	17%	50%	33%
3	保護者・保証人との連携	保護者の学校行事の参加	85%	15%	0%	71%	29%	0%	79%	21%	0%	100%	0%	100%	0%	83%	17%	33%	67%
4	進路	一人ひとりに応じた進路指導	79%	8%	13%	62%	14%	24%	85%	5%	11%	86%	0%	100%	0%	83%	8%	33%	33%
5	生徒指導	悩みを相談できるシステムの有無や相談できる教職員の有無	64%	13%	23%	64%	14%	21%	75%	8%	17%	64%	7%	86%	0%	50%	25%	67%	17%
6	生徒理解	教職員の幼児・児童・生徒・学生の障がいについての理解	79%	15%	5%	79%	17%	5%	88%	5%	8%	79%	21%	100%	0%	83%	17%	50%	17%
7	授業	わかりやすい授業の実施	74%	8%	18%	71%	14%	14%	83%	2%	15%	86%	0%	100%	0%	67%	8%	33%	33%
8	授業	ICTを活用した教育の取り組み	74%	3%	23%	79%	2%	19%	77%	3%	20%	57%	0%	100%	0%	92%	0%	50%	17%
9	人権教育	幼児、児童、生徒、学生に対する積極的な人権教育の推進	72%	10%	18%	74%	7%	19%	83%	2%	16%	79%	0%	86%	14%	67%	17%	50%	17%
10	人権教育	日常の教育活動における幼児、児童、生徒、学生の人権の尊重	79%	10%	10%	74%	17%	10%	83%	5%	13%	86%	0%	86%	0%	83%	17%	50%	33%
11	人権教育	いじめなどの行為があった場合、適切に対応しているか	62%	8%	31%	64%	2%	33%	69%	2%	29%	50%	0%	100%	0%	75%	17%	17%	17%
12	教育課程	幼児、児童、生徒の実態に応じた教育課程の編成(専修部以外)	85%	3%	12%	94%	0%	6%	93%	4%	2%	79%	0%	100%	0%	83%	8%		
13	学校安全	地震や火災など非常時の対応方法が適切に教えられているか	69%	0%	31%	71%	7%	21%	82%	5%	14%	57%	0%	71%	0%	83%	0%	67%	0%
14	学校生活	通学路は視覚障がい者にとって安全に整備されているか	79%	8%	13%	83%	10%	7%	86%	6%	8%	79%	0%	86%	14%	92%	0%	50%	33%
15	学校生活	学校は視覚障がい者にとって安全に整備されているか。	92%	0%	8%	88%	7%	5%	88%	8%	5%	100%	0%	100%	0%	92%	0%	67%	0%
16	学校生活	スポーツフェスティバルや文化祭など学校行事が楽しいかどうか(専)学科の行事が有意義かどうか	85%	10%	5%	88%	7%	5%	84%	8%	8%	86%	7%	100%	0%	83%	17%	67%	17%

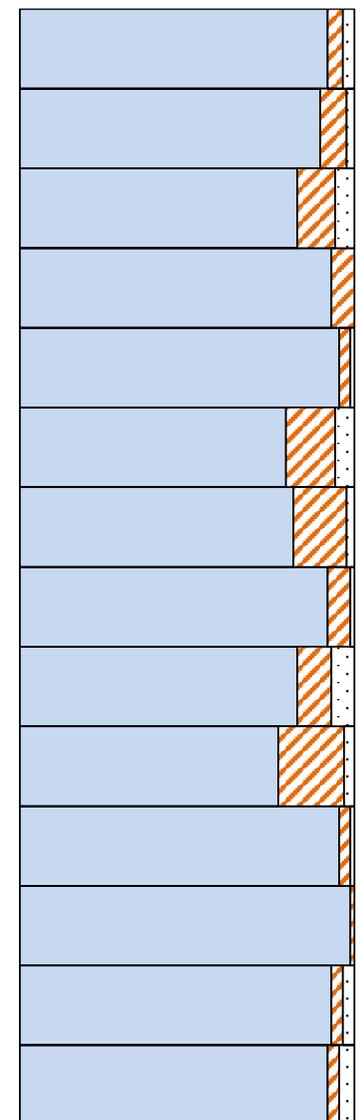
肯定的意見
  否定的意見  
 わからない



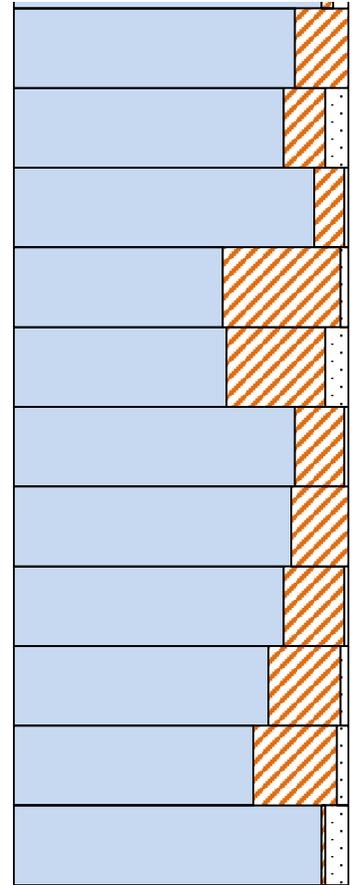
集計結果(教職員)

			R7 肯定	R7 否定	R7 わからない	R6 肯定	R6 否定	R6 わからない	R5 肯定	R5 否定	R5 わからない	幼小 肯定	幼小 否定	中 肯定	中 否定	高 肯定	高 否定	専 肯定	専 否定	行政 肯定	行政 否定	寄宿 肯定	寄宿 否定
1	保護者・保証人との連携	学校による情報の周知徹底	92%	5%	3%	96%	1%	3%	95%	3%	2%	90%	5%	100%	0%	97%	3%	82%	9%				
2	進路	一人ひとりに応じた進路指導	90%	8%	2%	93%	5%	1%	89%	9%	2%	70%	20%	100%	0%	97%	3%	91%	9%				
3	生徒指導	悩みを相談できるシステムの有無や相談できる教職員の有無	83%	11%	6%	93%	3%	4%	96%	3%	1%	75%	10%	100%	0%	87%	10%	73%	23%				
4	生徒理解	教職員の幼児・児童・生徒・学生の障がいについての理解	93%	7%	0%	96%	3%	1%	91%	9%	0%	95%	5%	100%	0%	97%	3%	82%	18%				
5	授業	わかりやすい授業の実施	95%	3%	1%	93%	4%	3%	93%	6%	1%	95%	5%	100%	0%	94%	3%	95%	5%				
6	授業	ICTを活用した教育の取り組み	80%	15%	6%	83%	15%	3%	83%	16%	1%	65%	25%	93%	7%	90%	10%	68%	18%				
7	人権教育	幼児、児童、生徒、学生に対する積極的な人権教育の推進	82%	16%	2%	84%	12%	4%	86%	14%	0%	80%	15%	100%	0%	74%	23%	82%	18%				
8	人権教育	日常の教育活動における幼児、児童、生徒、学生の人権の尊重	92%	7%	1%	96%	3%	1%	88%	7%	4%	90%	5%	100%	0%	97%	3%	82%	18%				
9	人権教育	いじめなどの行為があった場合、適切に対応しているか	83%	10%	7%	80%	7%	13%	88%	6%	5%	75%	15%	100%	0%	84%	6%	77%	18%				
10	教育課程	幼児、児童、生徒の実態に応じた教育課程の編成(専以外)	77%	20%	3%	90%	8%	2%	80%	19%	2%	50%	50%	93%	0%	87%	10%						
11	学校安全	地震や火災など非常時の対応方法が適切に教えられているか	95%	3%	1%	95%	4%	1%	95%	5%	0%	95%	5%	100%	0%	94%	3%	95%	5%				
12	学校生活	通学路は視覚障がい者にとって安全に整備されているか	99%	1%	0%	93%	4%	3%	97%	3%	0%	100%	0%	100%	0%	100%	0%	95%	5%				
13	学校生活	学校は視覚障がい者にとって安全に整備されているか。	93%	3%	3%	95%	4%	1%	90%	10%	0%	95%	5%	93%	0%	97%	0%	86%	9%				
14	学校行事	スポーツフェスティバルや文化祭など学校行事が楽しいかどうか(専)学科の行事が有意義かどうか	92%	3%	5%	88%	8%	4%	90%	5%	4%	95%	5%	100%	0%	94%	3%	82%	5%				

肯定的意見  
 否定的意見  
 わからない



15	学校運営	教育活動についての教職員同士の日頃の話し合いや意思の疎通	84%	16%	0%	92%	7%	1%	88%	9%	4%	90%	10%	100%	0%	84%	16%	68%	32%	38%	8%	93%	7%
16	学校運営	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしているか	81%	13%	7%	89%	8%	3%	79%	12%	9%	70%	20%	87%	7%	87%	3%	77%	23%	31%	0%	87%	7%
17	学校運営	個人情報適切に管理しているか	90%	9%	1%	92%	5%	3%	91%	7%	2%	90%	10%	93%	7%	84%	13%	95%	5%	54%	8%	100%	0%
18	学校運営	働き方改革がすすめられているか	63%	35%	2%	75%	23%	3%	73%	20%	6%	40%	50%	87%	13%	61%	39%	68%	32%	25%	33%	73%	27%
19	学校運営	校長は、自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしているか	64%	30%	7%	92%	7%	1%	92%	4%	4%	60%	30%	93%	7%	52%	42%	64%	27%	58%	0%	100%	0%
20	学校運営	各分掌や各部・学年間の連携が円滑に行われ、うまく機能しているか	84%	15%	1%	83%	15%	3%	72%	21%	7%	85%	15%	100%	0%	81%	19%	77%	18%	25%	17%	73%	27%
21	学校運営	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができていますか	83%	17%	0%	83%	16%	1%	80%	15%	4%	95%	5%	93%	7%	84%	16%	64%	36%	42%	17%	80%	20%
22	学校運営	校内研修は、教育実践に役立つような内容となっているか	81%	18%	1%	88%	8%	4%	82%	12%	6%	80%	20%	100%	0%	81%	19%	68%	27%	25%	0%	87%	7%
23	学校運営	初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれているか	76%	22%	2%	80%	19%	1%	74%	18%	8%	70%	30%	100%	0%	74%	23%	68%	27%	33%	8%	73%	20%
24	学校運営	教員の間で授業方法等について、検討する機会が設けられているか	72%	25%	3%	80%	16%	4%	77%	13%	10%	65%	30%	93%	7%	68%	29%	68%	27%				
25	学校運営	個別の指導計画について、本人・保護者のニーズを踏まえ作成しているか	92%	1%	7%	87%	4%	9%	82%	7%	11%	100%	0%	93%	0%	97%	0%	77%	5%				
			R7 肯定	R7 否定	R7 わからない	R6 肯定	R6 否定	R6 わからない	R5 肯定	R5 否定	R5 わからない	幼小 肯定	幼小 否定	中 肯定	中 否定	高 肯定	高 否定	専 肯定	専 否定	行政 肯定	行政 否定	寄宿 肯定	寄宿 否定



＜教職員の集計結果について＞

- ①～⑭までの教育活動に関する項目は、児童生徒学生並びに保護者・保証人の数値と比較する際の正確性を高めるため、行政・寄宿舎は回答項目から除外した。
  - ⑮～㉔学校運営で、行政は肯定も否定も低く、ほとんど、「わからない」である。
  - 回答率は88.5%でR6年度の81.1%から上昇した。前年度に引き続きグーグルフォームを利用した回答形式で実施した。前年度は紙による回答の行政もグーグルフォームで実施できるよう、環境の工夫を行った。
  - 25項目全てにおいて、肯定的意見(以下、肯定)が70%以上は23項目で、そのうち90%以上が11項目(①、②、④、⑤、⑧、⑪～⑭、⑰、⑳)だった。
- また、①～⑭までの教育活動に関する14項目のうち、13項目が80%以上の高い数値を維持していた。

- ・⑤『わかりやすい授業』は肯定が95%で、否定はR5から6%、4%、3%と減少している。また、④『障がいについての理解』は肯定が93%あり、日ごろから個々の特性に合わせて学びを検討し、体験を積む学習に取り組んだ。
- ・⑫『通学路は視覚障がい者にとって安全に整備されているか』は肯定が99%、否定が1%だった。近隣工事の通知やバス入出庫の周囲の目視など高い安全意識で取り組んでいる。また、駅構内含め外部への安全対策の働きかけも大切であると考える。
- ・⑮『教育活動についての教職員同士の日頃の話し合いや意思の疎通』は肯定が84%あり、宿泊舎生を預かる寄宿舎でも肯定が93%と高く、密な連携がみられている。
- ・⑱『働き方改革がすすめられているか』は肯定が63%だった。今年度から評価の2期制が始まり、その現状や課題について把握し、対応していく必要がある。また、幼小学部は肯定が40%と低かった。幼小学部における環境整備や学習支援の課題についても検討していく。

# 令和7年度 学校教育自己診断 自由筆記一覧

学校教育自己診断へのご協力ありがとうございました。いただいたご意見を項目ごとに、保護者・保証人、児童・生徒・学生、教職員の順でまとめ、学部ごとに内容を記載しています。

いただいたご意見、文章の全ては掲載していません。同様の内容があるものはまとめています。個人が特定されるものや一部の学部・学科のみにかかわるものは、当該学部・学科での共有のみとさせていただきます。また、いただいた文章の主旨を尊重していますが、内容によっては、省略・修正などをしたところがあります。なお、小学部児童に対しては、「先生にお願いしたいことや言いたいことがあれば書いてください。」として自由筆記の質問をひとつだけにしています（回答は1に記載しています）。

## 1. 学校のよいところや今後続けていってほしいこと

### ◎保護者・保証人

#### ★小学部

- きめこまやかな個に応じた指導、集団を育てる指導
- 子どもにあった授業の進め方など、色々丁寧に行っている
- いつも子どもファーストで考えてくださる先生方に感謝しております。また環境も整えて下さり気持ちよく学校に通えています。子どもの事で不安な事も自分達で抱えず、学校と共有しながら乗り越えていけているので、親子で精神的な不安はなくなりました。

#### ★高等部

- 学部関係なく子どもを知っていただき、声掛けして下さる先生方には日々感謝しております。校内の明るい雰囲気は教職員の先生方が進んで作ってくださっていると思います。この明るさが今後とも続いていくことを願っております。
- 本人への寄り添いを今後もよろしく願いいたします
- 個性を大切にしつつ、お互いの関係をきづけていること。幼から専修部までである中、決して延長ではなく、学部ごとの色がしっかりあるところ。文化祭、体育祭 他学部、他の学校との交流。部活動が盛んなところ。

#### ★専修部

- 学校では先生方も生徒さんも積極的にあいさつをしていて、明るく前向きな雰囲気がとても素晴らしいと感じています
- 授業で理解が追いつかない部分がある時に、先生が個別にサポートして下さることに感謝します
- 本人が無理なく取り組める支援を今後続けていただけたらと思います

### ◎児童・生徒・学生

#### ★小学部

- お友達と話すのが楽しい

#### ★中学部

- いろんな学年の先生や生徒の仲がいいのがいいところ

### ★高等部

- 一人一人のサポートが手厚い
- いいところでもあり悪いところでもあると思うのですが生徒が困っていたらすぐに先生が助けに行ってしまうので生徒が考えなくなってしまうのではないかと不安です

### ★専修部

- 一人ひとりに適した教え方。練習問題で習熟を確認する授業法
- 廊下ですれ違う時や、教室に入っただけのときに、先生から挨拶したり、声をかけてくださる事は見えていない私にとって安心材料です
- 素晴らしい先生が複数いる
- クラス内で良好な関係を築くことが出来ている
- 各種行事があり、他学年の様子をうかがえるのが、とても視覚障がい者の世界をより広い視野でとらえることができるとても良い
- 専修部の校外学習・見学は、現在のあはき現場や施設の現状を知るうえで大変参考になる

(校長より)

- 本校及び本校教職員の良いところを伝えていただき、ありがとうございます。
- 学校は幼児児童生徒学生の学び舎であることを第一に、今後も取り組んでまいります。

## 2. 学校教育をよりよいものにするためのご意見・学校教育自己診断票についてお気づきの点

### ◎保護者・保証人

#### ★幼小学部

- 志の高い先生方ばかりで学校の存在に本当に感謝しています

#### ★中学部

- 生徒を増やしてほしいです

#### ★高等部

- このままの個性を尊重しつつも、自然と特性をつかみ協調していくところ。個性を活かし色々チャレンジする姿をサポートしてる先生方や関わってくれる大人がいる信頼関係を続けてほしい。
- 本人から聞き取ることができないので回答が難しいところがありました

#### ★専修部

- 通学路の歩道ががたがたで歩くことに危険だと心配している。JR 我孫子町の駅からスギ薬局までの歩道。
- 本人から教室の掲示物が見えにくく、内容が確認しづらいことがあると聞いています。視覚支援学校として、見えにくさによる不便が少しでも減る環境づくりをお願いできればと思います。この診断票については、意見を伝えられる機会として有意義に思います。

## ◎児童・生徒・学生

### ★幼小小学部

- ・バスの中でのトラブルが多いから、よくなるといいなと思います

### ★中学部

- ・学校の宣伝をしたい

### ★高等部

- ・例えば授業面では教卓に担当の教科の先生ともう一人は生徒のサポートをする先生をつければ一回一回授業をスムーズにできるのではないか

### ★専修部

- ・習熟できない場合の放課後授業や補講は家庭事情によっては十分に申請や受講できないのであくまで授業中に技量を身につけられる体制を組むべき
- ・晴眼者でないので実技スキルは見真似で身につけられないので日々の細かい指導で授業中に習得できるようにして欲しい
- ・学校からの書類がほとんど墨字なので、書類の下端などに内容をQRコードで読めるようにしてもらえると利用しやすいのでは。あと保護者用のマチコミメールですが、テキストデータであれば内容がわかりやすいのでは。
- ・先生方によって教え方のスタイルが個々に違うので、理解しやすい先生と、しづらい先生の差が大きいと感じる

### (校長より)

- 本校の教育活動をより良いものにするためのご意見、ありがとうございます。掲載していないご意見についても関係学部・学科で共有しております。
- 学校教育自己診断アンケート回答にあたっては、子どもの状況などによって回答しづらいことがあることは承知しております。無回答があってもかまいませんので、できる範囲でご回答いただきますようお願いいたします。
- 通学路については毎月、教職員が目視による点検を行い、気づいたことを校内で共有しております。場合によっては道路を管理する部局等に申し入れも行っております。
- 本校において見えにくさに対する支援は、全ての教職員が最優先で取り組む事項です。配慮が不十分なケースがありましたら、申し訳ありません。そこでお願いですが、見えにくさは千差万別であり、私たちの配慮が不十分なときは遠慮なく申し出てください。
- 通学バス内で起きていることも学校にご相談ください。解決に向けて一緒に考えていきます。
- 学校からの文書について、受け取る側への配慮は必要であり、QRコードやテキストデータなどのアイデアをいただき、ありがとうございました。アクセスしやすい情報発信の方法を検討してまいります。
- 一人ひとりの教員にそれぞれの授業スタイルがあることはご了承ください。それはすべての教員が画一的に行えばよい授業スタイルは存在しないからです。しかし、ご指摘のとおり、各個人にとって分かりやすい授業スタイル、分かりにくい授業スタイルがあることも間違いありません。授業研究や研修等によって教員一人ひとりの授業力向上を図ってまいります。